

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

魚採集



腐植土が海を
 守る。
 腐植土層は炭
 素の補給を
 すると同時に水
 質を浄化する機
 能を有している。
 腐植土が少いと、
 雨は度々表層を
 流れ流れてしま
 い、土中の保水は
 少ない。
 魚介類の生息に
 は、河川の水質が
 必要であるが、
 濁水は魚の淡水
 魚の産卵に不利
 産卵し孵化後降
 海する魚は
 生き残りにくい
 生き残る魚は少
 くなる。

平成27年5月29日(金)
 矢田川縮葉橋上流
 で水質調査スタート

天気快晴。水温27
 連休が良く晴れて5月は上々のスタート
 でしたので水温も上昇。メダカが採れ
 るか心配はしたが水生昆虫はまだ採集
 出来ずしたので水質配分が非常によ
 かったのではなかと子供達とは喜んでい
 ました。
 この数年から水質CODも40~50に値えは
 維持しており汚水も少しづつ改善は出来て
 います。この日はメダカ、ヤマト、と結構
 大きな魚もタモに入らせています。
 昨年より上流の河川も改修終了という
 関係もきれいな状態になっている要因もな
 っています。



▲バケツの中は、メダカ、メダカ、ヒゲナガ。
 ▼下流ではゴミ拾いをみせています。

昔の水循環は...
 まだ生活に使った燃料が木
 炭の頃、初めは山、山の木
 を切り、川で洗濯をし
 ていました。ほんのり人が
 少なかった、自然の力で水
 がきれいにあり、
 川には生き物がたくえ棲
 み、子ども達は川で遊
 び、水は私たちに
 多くの恵みをもたらして
 きました。
 健全な水循環をとりも
 とり、ために
 健全な水循環をとりも
 とるためには、4つの点から取り組
 むを進める。
 ①きれいな水 ②豊かな水
 ③いろいろな生き物が棲め
 る水 ④きれいな水辺の4つの点。
 ④きれいな水辺の4つの点。



▲水質調査、色です。40COD
 ▲透視度調査 61cm